

警戒レベルの判断基準

沖縄県では、次の7項目の判断指標に加え、県外・海外の感染状況や県内の医療提供体制の実情等も踏まえた上で、総合的に判断し警戒レベルを決定する。ただし、流行状況に地域差があることが想定されることから、各地域の流行状況を勘案し実施内容を決定する。

区分		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
判断指標		発生早期 (散発発生期)	流行警戒期	感染流行期	感染蔓延期
県内の 医療体制	① 療養者数（入院中・宿泊療養中・自宅療養中・入院等調整中）	23人以下	54人以下	329人以下	329人超
	② 【確保済】病床占有率（入院中/確保済病床数）	30%以下	45%以下	70%以下	70%超
	③ 【確保済】重症者用病床占有率（重症者(県基準)/確保済重症用病床数）	10%以下	30%以下	60%以下	60%超
県内の 感染状況	④ 新規感染者数（直近1週間合計）	14人以下	37人以下	211人以下	211人超
	⑤ 感染経路不明な症例の割合（直近1週間平均）	30%以下	50%以下	70%以下	70%超
	⑥ 新規PCR検査の陽性率（直近1週間平均）	1%以下	3%以下	7%以下	7%超
	⑦ 入院1週間以内の重症化率（直近1週間平均）	10%以下	15%以下	20%以下	20%超